



株式会社クリエイト新興花巻屋杯 第12回 ヴィーナスプリント (M3)

水沢競馬場 3歳以上牝馬オープン・ダート1400m

10月5日(日) 18:05発走

ヴィーナスプリントは牝馬路線充実の一環として2013年に創設。当初5回は水沢1300mを舞台に牝馬オープン重賞で実施されてきましたが、2018年は開催取り止め。翌2019年に準重賞で復活し、盛岡1200mに移行。2021年から重賞へ再格上げされました。また昨年からは第1回から第5回までと同じ水沢1400mを舞台に行われます。

【注目馬情報】

★ミニアチュール 牝5歳 佐藤祐司きゅう舎・水沢

今シーズンは3月末から始動。初戦3着、栗駒賞8着からシアンモア記念3着、あすなろ賞2着、一條記念みちのく大賞典3着と牡馬相手に互角の勝負を演じ、牝馬重賞・フェアリーカップを2秒差で圧勝。続いてビューチフルドリーマーカップへ出走し、1番人気に支持されましたが、大井・ローリエフレイバーの5着。2連覇は達成できませんでした。今度は再び地元同士の牝馬が相手。地力の違いを見せつけて2連覇にまい進します。

★レディブラウン 牝7歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

門別1勝、南関東1勝、浦和・桜花賞3着などの成績を残し、門別を経て一昨年12月に転入。C1編入にも恵まれて9勝をマークし、A級まで上り詰めました。今季は初戦の白嶺賞2着後、伸びを欠いた時期もありましたが、早池峰SS4着、岩鷲賞4着、前走3着と持ち味の堅実さを発揮。牝馬同士なら勝ち負けに持ち込めます。

★ボンヌフ 牝4歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

父はブリーダーズカップ・クラシックなどを制し、年度代表馬に選ばれたゴーストザッパー。中央未勝利2着2回から南関東、名古屋、金沢を経て岩手入り。過去、名古屋1勝のみでしたが、初戦でいきなり重賞・フェアリーカップに挑戦して3着。オープンでも通用を証明しました。その後はヴィーナスプリントへ照準ピタリ。

★ピカンチフラワー 牝3歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

昨年の2歳新馬勝ち第1号。牝馬交流・プリンセスカップ4着後、南関東へ移籍。2戦7、4着から再転入。牝馬重賞・あやめ賞を快勝しました。以降はイーハトーブマイル2着、ウイナーカップ2着と牡馬相手に3歳重賞で好走。前走・ひまわり賞は3着でしたが、1800mが長かった印象。1400mなら古馬相手でも好勝負必至。

★キャンドルペリー 牝6歳 工藤裕幸きゅう舎・盛岡

中央未勝利、大井5戦4勝、中央1勝クラスから転入後、3勝マークのほかすべて3着以上。抜群の安定感を誇っています。今度はオープン牝馬が相手ですが、持ち味の堅実さで上位争いを演じます。

★チアフルヴォイス 牝4歳 小林俊彦きゅう舎・水沢

京都ダート1400m1勝から転入後、圧巻の4連勝中。一気にメンバーは強化されましたが、中央、岩手を問わず5勝がすべて1400m戦。適性を前面に、格上馬に一泡を吹かすか。

★カリユウ 牝6歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

中央ダート短距離で2勝をマークして岩手入り。当初は地方ダートに手こずって苦戦の連続でしたが、3走前5着、前走3着確保。これで通用のメドが立ちました。ペースが速くなれば直線台頭のシーンまで。

文／松尾 康司